

2024 年度

タートルナーサリー 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 20 日（月）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月18日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念を意識し、四季折々に子どもたちに楽しんでもらえる活動を検討し実施した。今後もより安全により楽しめる活動を検討していきたい。
子どもの発達援助	年齢による発達段階を知ることだけではなく、個々の育ちをよく観察しながら一人ひとりゆったりと丁寧に関わることができた。子どものありのままの姿を大切に受け止め、子どもの発達に見合った環境設定など職員間で話し合い、計画・実践・振り返りを行った。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳のやりとりの中で園での成長の様子やエピソードなどを伝え園の様子を知っていただけるようにした。私たち保育者も共に育ちを見守り成長の喜びを感じることができた。
保育を支える組織的基盤	保育の質の向上を目指して、外部研修や月に一度園内研修を行い、研修後は研修報告書を作成し職員間で共有した。職員間の対話も大切にし、風通しのよい職場を構築できた。

総評
保育理念を職員間で共通理解し、子ども一人ひとりに見合った指導計画を試行錯誤しながら立案し職員も一緒になって楽しみながら活動に取り組んだ。 職員間のコミュニケーションもしっかり図られ、園の雰囲気明るいが自負できるところである。そんな職員たちと今後も毎日子どもたちが笑顔で過ごせ、明日も楽しみに登園してくれるよう家庭的な温かい保育をしていきたいと思う。また保護者の気持ちに寄り添いながら日々のコミュニケーションを図ってきたが、次年度も引き続き保護者のニーズの把握に努め、求めている要望にも耳を傾けながら保護者との連携を図り、保護者支援にも力を入れたい。